

献 辞

西川良一先生は、本年1月18日に古稀をお迎えになり、本年3月末日をもって定年に達せられます。

先生は、戦後、マルクス主義経済理論では比較的手うすな研究分野である流通経済論に取り組まれ、『流通経済論』をはじめとする一連の諸論文でも明らかなように、この方面での開拓者的な業績をあげられました。

また、先生の研究は、流通組織の近代化の研究でみられるように、理論的研究にとどまらず、個別業界の実証分析に多くの業績を残されました。

もとより、先生のご功績は、このような研究面にとどまるものではありません。同志社での39年におよぶ年月において、学部・大学における行政面での種々のご貢献はむろんのこと、教育・研究指導をとおしての多くの後進の訓育にあたられました。特に演習での懇切なるご指導には、非常に多くの学生が集い、その感化に浴しました。

同志社大学経済学会は、先生の多年にわたる研究と教育に対するご貢献に感謝し、『経済学論叢』の第39巻、第3号を記念号として、編集することになりました。先生の親しい友人、あるいは直接・間接に指導をうけられた方々の労作を、古稀記念論文集として一冊にまとめ、先生に捧げることができますことは、私達一同の喜びであります。

先生が今後ますます健康で、学界のためのみならず、広く社会のためにご活躍下さることを心からお祈りいたします。

1988年1月17日

経済学部長 森 一 夫